



オセアニア最新現地情

2021/12/22

12月に入り、寒さが一段と厳しくなってきました。12月のビッグイベントと言えば、そう、クリスマスですね！今回は、オーストラリアのクリスマスについて少しご紹介します。

南半球にあるオーストラリアの12月は夏真っ盛り。サンタクロースがサーフボードに乗ってやってくる、と聞いたことがある人も多い



でしょう。1977年、クリスマスを記念してオーストラリアの郵便局が販売した切手「サーフィンサンタ」は、当時「クリスマスを侮辱している」と敬虔なクリスマスチャンからは不評を買ってしまったそうです。しかし、今ではすっかりそのイメージが定着していますね。

もちろん伝統的なサンタも存在します。

毎年アデレードで開催され、オーストラリア最大のクリスマス・ページェントと言われる「The Magic of Christmas in the heart of Adelaide」では、トナカイのそりに引かれたお馴染みの姿のサンタクロースがやってきます。

クリスマスは、家族が集まり一緒に過ごすのが一般的です。24日のイブよりも25日が重要視されており、25日はほぼ全ての会社、商店がお休みです。オーストラリア人はバーベキューが大好きですが、クリスマスも例外ではありません。ビーチや庭先で家族や友人がにぎやかにバーベキューを楽しむ様子は、オーストラリアならではのですね。シーフードもクリスマスの定番メニューです。

「Christmas in July」という言葉をご存知でしょうか。オーストラリアで冬にあたる7月にクリスマス気分を味わおう、というちょっとしたイベントです。真夏のクリスマスも楽しいけれど、やっぱり「ホワイトクリスマス」に対する憧れもあるのでしょうか。1980年頃から広まったそうです。1年に2回もクリスマス気分を味わえるなんて、ちょっと羨ましいですね！？

それでは、本日はオセアニア（オーストラリア・ニュージーランド）の最新情報をお伝えします。

Australia



オーストラリア、日本から入国可能に！！

オーストラリア連邦政府は2021年12月15日より、日本と韓国からの入国制限を緩和し、ワクチン接種の完了を条件に約1年9か月ぶりに受け入れを再開しました。これまで、オーストラリア市民や、滞在許可を有する方など一部の渡航者に限り認められていましたが、当措置により、日本からの観光や商用、留学での渡航も可能になります。入国可能対象者の条件は以下通りです。

- 該当国の国籍を保有していること
- 該当国から出国し、オーストラリアに入国すること
- 有効なオーストラリアのビザを保有していること
- 特定の管轄区域（ニューサウスウェールズ州、ビクトリア州、オーストラリア首都特別地域）の空港へ直行便で入国すること
- オーストラリア医療製品管理局が認可、もしくは認められたワクチンの投与量を満たす形で、ワクチン接種を完了していること ※1
- ワクチン接種の状況を証明する内容を提供できること ※2
- 出発から3日以内に実施したPCR検査による陰性証明書の提示が可能であること



※1 日本で主流のファイザー社、モデルナ社製のワクチンの場合、2回接種していれば有効と認められます。

※2 海外渡航用の新型コロナワクチン接種証明書は、各市町村にて申請可能です。

これら3つの州および地域は、現在全ての渡航者に到着後72時間の隔離とPCR検査を受けることを義務付けています。上記以外の州、または準州に渡航する場合は、隔離条件を含むすべての入境規則を遵守する必要があります。要ですが、到着する州により、追加の対応が求められる場合があります。

ワクチン摂取状況 (2021年12月22日現在)

 **2回接種完了者割合** (16歳以上人口比)

オーストラリア全土	: 90.8%
ニューサウスウェールズ州	: 93.5%
ビクトリア州	: 92.2%
オーストラリア首都特別地域	: 95%

New Zealand



2022年から入国規制を段階的に緩和

現在ニュージーランド政府は、厳しい入国制限を設けており、外国人は永住権所持者など、ごく一部の方を除き入国できません。また、入国できる場合も、出発前72時間以内に実施したCOVID-19検査陰性証明書の提出と、入国後指定隔離施設(MIQ)にて7日間の強制隔離(費用は本人負担)、その後自宅での隔離3日程度(入国後9日目に検査結果が陰性であれば、隔離終了)が求められます。また、ニュージーランドに入国する外国人は、ワクチン接種を完了していることが求められています。

2022年4月30日以降、ニュージーランド政府が定める旅行要件を満たし、完全にワクチン接種完了済の外国籍の方は、指定隔離施設(MIQ)での隔離なしでニュージーランドへの入国を可能にするべく、次のスケジュールの通り規制緩和方針が発表されています。

～ 国境再開に向けての3ステップ(予定)～

Step 1

2022年1月16日23時59分以降、**オーストラリアから**来るワクチン完了済みのニュージーランド人および他国の旅行者に対して国境解放(過去14日間オーストラリアまたは、ニュージーランドに滞在していたことが条件)



Step 2

2022年2月13日23時59分以降、**非常にリスクの高い国を除く全ての国から**来るワクチン完了済みのニュージーランド人および他国の渡航者に対して国境開放



Step 3

2022年4月30日以降、ワクチン完了済の渡航者に対して国境開放

！ワクチン接種が完了していない方は入国できません！

ワクチン摂取状況 (2021年12月22日現在)

 **2回接種完了者割合** (12歳以上人口比)

ニュージーランド全土	: 91.0%
北島	: 89.3%
南島	: 90.6%



編集後記

新たな変異ウイルス、オミクロン株の登場や、第六波への懸念など、新型コロナウイルスに対する警戒は依然としてあります。それでも世界は少しずつ前進しています。

2022年が皆様にとって、明るく希望に満ちた年となるよう、心より願っております。素敵な年末年始をお過ごしください。

日本国際理解推進協会 職員一同